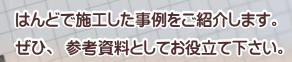
住宅改修·事例紹介 2





トイレまで安全に移動したい

このようなことでお困りでした

木造住宅に奥様と二人で生活していらっしゃいます。 屋内の移動は壁や手すりを支えにすることで一人でも可能 です。しかし、夜間トイレに行く時は、入り口にある敷居 段差につまづき転倒しそうになるのが心配で、奥様が付き 添われています。そのため『安心して一人でトイレに行け

るようにできないだろうか…』と相談いただきました。



S様(男性)80代要介護2

糖尿病・心不全を患い歩行が不安定。 屋内は支えがあれば歩行可能ですが、 外出時には車いすを使用しています。

Before & After



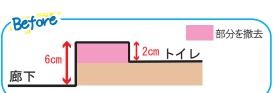
S様のお宅では、廊下とトイレ内の床の高さが違っていました。そのため、トイレの床にあわせて敷居を撤去し、またぐ動作が不要な状態にする方法を選択しました。

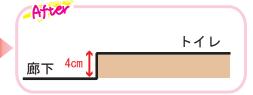
POINT

S様は歩行状態が不安定だったため、あえて 段差を残しましたが、廊下側にミニスロープ を設置する方法もあります。その方にあわせ て、様々な方法を検討しましょう。









廊下側に段差を乗り越える際の支えとして、縦手 すりを設置しました。



トイレ入り口には横手すりを設置しました。移動 やドアの開閉時に支えと して役立ちます。



施工後の感想

夜間、妻を起こさないようにしたいと思ってはいたけど、敷居につまづくのが不安で、なかなか 一人でトイレに行けませんでした。

工事後は、敷居をまたぐ動作が不要になり、手すりもあるので、安心してトイレに行くことができます。妻への気兼ねもなくなり、ほっとしています。



発行 2012年7月)



お問い合わせはお気軽に通話無料のフリーダイヤルで

◆宇部店 宇部市小松原町 2-10-1 (担当:綿田)

0120-416507

◆下関営業所 下関市東観音町 3-19 (担当:能見)

0120-416566